

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 22 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 22 日 作成

事務事業名		小中学校児童生徒健診事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 中島 正剛
	施策	15	健康づくりの推進		所属課	学校教育課	担当者名 佐伯 幸治
	基本事業	44	病気の早期発見		所属班	学務指導班	(内線) 2234
					法令根拠		学校保健法第6条
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始
		01	10	02	01	10378・10379	成果優先度評価結果 10 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 不明 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
【事業の内容】 児童生徒の疾病の予防、身体の安全の確保を図り、学校教育の円滑な実施を図るため、検尿、血圧、貧血、心電図検査を実施する。 【業務の流れ】 健診機関との委託契約事務、委託料支払い事務、結果確認事務 【主な予算費目】 委託料							

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 児童生徒の健康状態及び成長状況を把握するため健康診断を実施。 検尿・血圧・貧血・心電図	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度に同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 小中学校児童生徒	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 健診受診者児童数 人 イ 健診受診者生徒数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 児童生徒の健康状態を把握し、疾病の予防、身体の安全の確保を図り、義務教育が支障なく受けられる状態にする	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 小中学校児童数 人 イ 小中学校生徒数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 病気を早期に発見できる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 健康な体で学校に通える児童の割合 % イ 健康な体で学校に通える生徒の割合 %
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 健康診査等への受診率(基本健診受診率) % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入 量	事業 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 の み 記 載)  0          0          0          0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	6,923	6,814	6,434	5,969	6,880	6,880	
	(A) 事業費計	千円	6,923	6,814	6,434	5,969	6,880	6,880	6,880	
	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	107	107	107	107	107	107	107	
	(B)人件費計	千円	425	426	426	426	426	426	426	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,348	7,240	6,860	6,395	7,306	7,306	7,306	
	活動指標	ア 人 イ 人	68 1718	3391 1710	3474 1688	3500 1669	3538 1684	3580 1690	3600 1700	目 標 合 計 値 画  22 年 度
	対象指標	ア 人 イ 人	3357 1718	3391 1710	3474 1688	3500 1688	3582 1680	3587 1683	3600 1700	
	成果指標	ア % イ %	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100		
	上位成果指標	ア % イ %	38.9 38.9	36.9 36.9	45 45	31.4 31.4	49 49	55 55		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

学校保健法第6条に定められている事業である。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

法に定められたものであり変化はない

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし

事務事業名	小中学校児童生徒健診事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・児童生徒が健康であり義務教育を受けられることは、義務教育の充実の第一歩であり、政策体系と結びつく ・意図の児童生徒の健康状態を把握し、疾病の予防、身体の安全の確保を図ることは、健康な体になることに結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 学校において児童生徒の健康診断を実施するよう法に規定されている
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業そのものは、児童生徒に健康診断を受けてもらう事業であり、成果の向上余地はない。ただし、現状を維持していくためには事業の継続が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 法に定められた事項であり、休止、廃止は法が改正されない限り考えられない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 健診項目等決まっており、事業費の削減余地はない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事務時間であり削減できない。 委託するような業務時間でない
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 法に定められた事項である、議論の余地はない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>				
--	--	--	--	--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	( 直結度高い 1~3   直結度中 4~6   直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	5	( 貢献度高い 1~3   貢献度中 4~9   貢献度低い 10~12 )